

# 埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7  
TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095 URL:<http://www.sairingi.com/>  
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

## 平成30年度 埼玉県医師会 精度管理調査試料梱包・発送作業に参加して

平成30年度 埼玉県医師会 精度管理調査試料梱包・発送作業が2018年9月1日(土)に行われました。初めての参加ということで少し不安でしたが、会場に入るとすでに多くの埼臨技理事や研究班員の皆様が準備に取り掛かっており、試薬のラベル貼りや発送用の箱の準備などを行っていました。私が所属する輸血研究班では、前日に試薬の分注やラベル貼りを行っており、当日は容器の蓋の緩みを確認する程度でした。そのため、他の研究班のラベル貼りを手伝いました。



定刻となり、神山会長の挨拶、山口精度管理委員長から作業の説明・注意事項を受けた後、作業が開始されました。作業は事前に配布された参加施設のリストと発送用の箱に貼ってある必要な試料の表を確認し、試料を箱に入れていくものでしたが、参加施設ごとに必要な試料が異なること、流れ作業のためスムーズに行わなければならないというプレッシャーや間違えがないように試料を入れなければならない緊張感がありました。普段、疎かになりがちな指差し呼称やダブルチェックの重要性を改めて実感できました。梱包作業は順調に進み、箱詰めした試料、手引書、案内書等を宅配便の袋に同封し作業終了となりました。宅配便の袋がならんだ光景を見たとき達成感と同時に作業に携わった皆様に感謝の気持ちを感じました。

最後に、梱包・発送作業に携わった理事・研究班員の皆様、本当にお疲れ様でした。

(文責：小原佑太)





## 埼臨技 新入会員向け研修会開催される



「埼臨技 新入会員向け研修会」が9月7日(金)大宮ソニック906号室で開催され、68名(会員・非会員)の方に参加していただきました。研修会の前半は埼臨技会長の神山清志氏に技師会の歴史と果たす役割・重要性について、後半は「新人技師が知っておかねばならないこと」との題で、臨床化学研究班副班長の永井謙一氏に採血と生化学検査について講演していただきました。新入会員・入会予定の方々にとりまして、大変有意義な研修会であったと思います。

### 獨協医科大学埼玉医療センター 臨床検査部 齊藤 理央



埼玉県臨床検査技師会が主催する新入会員向け研修会に参加しました。

参加した理由は、技師会という組織は一体何をしているのか、自分が会員になることでどのような意義があるのか、疑問に思ったからです。

技師会組織の説明では、技師会の神山会長に、会の生い立ちや活動内容などを教えていただきました。また埼玉県臨床検査技師会は、無償で活動している有志の集まりと聞いたことは、とても驚きでした。神山会長は、技師は病院同士横の繋がりを大事にしていかなければならないと話しており、私が感じていることと同じで、一番大事なことは他種職同士のコミュニケーションだと思っています。

検査技術が体に身につくまでは多くの努力と時間が必要ですが、コミュニケーションならば、意識で改善していける部分もあるので、私が志す技師像の第一歩として、尽力して目指したいと考えています。

### 埼玉医科大学病院 中央検査部 室井 夏妃



私は今年度入職し、先輩方に進められ漠然と日臨技・埼臨技に入会しました。今回新人会員向け研修会に参加し、神山会長による日臨技・埼臨技についてのお話を始め、永井氏の講義、さらには青年部の紹介を聞いたことで、私たち新人技師が技師会を知る非常に貴重な機会となりました。また、各研究班による研修会は自身のスキルアップだけでなく、異なる環境で働く技師との意見交換ができる場でもあると思いました。今後も技師としてスキルを身に付けていくために、先輩方から多くの知識と技術を吸収し、技師会に積極的に参加させていただきたいです。

### 埼玉県済生会栗橋病院 臨床検査科 長江 結乃



私は、埼臨技の新人会員向け研修会に参加させていただきました。神山会長による埼臨技についてのご講演では、主な活動として数多くの研修会が開催されていることを知り、今後積極的に参加し、検査の基礎から新しい知識まで幅広く学びたいと思いました。

永井氏による「新人検査技師が知っておかねばならない事」のご講演では、採血管の種類や構造、取り扱いによって検査結果に影響が出てしまうこと、またデータの見方など、生化学の基礎を学ぶことができ、今後の実務に活かせる内容でした。そして、コミュニケーションが大事であると教えていただきました。

懇親会では他施設の方々とお話しができ、技師会の「横のつながり」を実感しました。院外の方々とのつながりを大切に、自分の分野以外にも視野を広げられるように日々精進していければと感じました。

今回このような貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

浦和医師会メディカルセンター  
脇谷 浩之



今回、新人研修会に参加させていただきましたので感想を述べさせていただきます。神山会長からは「技師会ってどんな組織」と題して、技師会の成り立ちから検査技師としての心構えなどを講演いただきました。永井氏からは「新人検査技師が知っておかなければならないこと」として生化学検査の基礎から検査結果の考え方、また大切にされていることとして研修会の積極的な参加や研修会後半の意見交換会が重要である事をお話いただきました。

継続的な学習の重要性はもちろんのことですが、なによりも研修会に参加することで生まれるヒトとの繋がりが大きな財産になると意識させられた研修会でした。



## 平成30年度 第1回検査室運営研修会が開催される

平成30年9月12日(水)午後7時より、大宮ソニックシティ902号室にて平成30年度 第1回検査室運営研修会が開催された。テーマは「医療法改正に伴う精度管理の対応について」である。検体検査の品質・精度管理についての基準を規定することなどを盛り込んだ「医療法等の一部を改正する法律」が、2017年6月の通常国会で成立し、公布された。今回の改正により、①医療機関、衛生検査所等の医療機関が検体検査業務を委託する者の精度管理の基準の明確化、②医療技術の進歩に合わせて検体検査の分類を柔軟に見直すため、検査の分類を厚生労働省令で定めることが規定された。これを踏まえ、今後の精度管理の対応について横地常弘氏(日臨技 代表理事 副会長)にお話しいただいた。まず、法改正の流れと法改正に伴う通知文書の解釈についての説明があった。今後各医療機関で「精度管理責任者の設置」と「各種標準作業手順書・作業日誌・台帳の作成」が義務化事項として対応する必要があるが、「内部精度管理の実施」、「外部精度管理調査の受検」および「適切な研修の実施」は努力義務事項とされている。また、これら品質保証には相応の費用が生じることから、検体管理加算の見直し等による診療報酬上の手当ても検討されている。日臨技は法改正に伴う具体的な方策として、「eラーニングを活用した精度管理責任者の育成」、「ホームページ上に各種標準作業手順書・作業日誌の雛形を提示するなどの帳票類等作成支援システムの導入」、「精度管理参加施設の拡充」、「現在の精度保証認証施設を品質保証認証施設制度(仮称)にグレードアップ」を実施予定としている。今回の研修会には予想を超える多数の会員が参加し、会場内で聴講できない会員が出てしまう程盛況であった。それほど、今回の法改正について多くの方々を意識していることの表れでもあり、不安に感じている方も少なからずいると思われる。法改正の対応に脱落してしまう施設がないよう、例えば文書作成に関してはISO15189認定取得施設のノウハウを活用できる部分があるため、取得施設での実例を提示するような研修会を埼臨技独自の支援として企画しても良いのではないかと感じた。



義務化事項として対応する必要があるが、「内部精度管理の実施」、「外部精度管理調査の受検」および「適切な研修の実施」は努力義務事項とされている。また、これら品質保証には相応の費用が生じることから、検体管理加算の見直し等による診療報酬上の手当ても検討されている。日臨技は法改正に伴う具体的な方策として、「eラーニングを活用した精度管理責任者の育成」、「ホームページ上に各種標準作業手順書・作業日誌の雛形を提示するなどの帳票類等作成支援システムの導入」、「精度管理参加施設の拡充」、「現在の精度保証認証施設を品質保証認証施設制度(仮称)にグレードアップ」を実施予定としている。今回の研修会には予想を超える多数の会員が参加し、会場内で聴講できない会員が出てしまう程盛況であった。それほど、今回の法改正について多くの方々を意識していることの表れでもあり、不安に感じている方も少なからずいると思われる。法改正の対応に脱落してしまう施設がないよう、例えば文書作成に関してはISO15189認定取得施設のノウハウを活用できる部分があるため、取得施設での実例を提示するような研修会を埼臨技独自の支援として企画しても良いのではないかと感じた。



(文責：大地康文)

# 第46回 埼玉県医学検査学会情報

開催日：平成30年12月2日(日)

会 場：大宮ソニックシティ

テーマ：『<sup>ひら</sup>拓く』

サブテーマ：～手を広げ、見て、聞いて、知って、覚えて、繋がって～



第46回埼玉県医学検査学会

## 発表用スライドデータ受付について

第46回埼玉県医学検査学会  
事務局・運営 川口 宏美

9月6日「平成30年北海道胆振東部地震」が発生いたしました。被災されました皆様へお悔やみとお見舞いを申し上げますと共に一刻も早い被災地の復旧・復興をお祈りいたします。

昨年11月から始動した第46回埼玉県医学検査学会実行委員会ですが、会議は11回を重ね、この日よりがみなさまへ届く頃には学会当日まで2か月を切る時期となります。あらためまして、多くの演題のエントリー、協賛のご協力に感謝申し上げます。

今月は、発表用スライドの送付についてお知らせいたします。内容については、後日ホームページへも掲載いたします。ご対応よろしくようお願い申し上げます。

学会発表用スライドデータ（Microsoft Power Pointで作成）は原則E-mail（以下メール）での送付となります。

ただし、ファイル容量が4MB以上の場合、スライドに動画が含まれる場合はCD-Rでの送付となります。（CD-RWは不可）

### 《送付方法》

#### 1. メールで送付の場合（4MB未満 かつ 動画無し）

- 1) 1演題につきメール1通に添付し送信してください
- 2) メール「件名」を「分野ー演題番号ー氏名」としてください  
例) 生-1-鈴岡拓三  
分野ー演題番号は埼臨技会誌 第46回埼玉県医学検査学会特集号でご確認ください
- 3) 本文には何も記載しないでください
- 4) 添付するファイル名はメールの「件名」と同じにしてください
- 5) 送付いただいたメールのデータは実行委員会にて責任を持って消去いたします

#### 2. CD-Rで送付の場合（4MB以上 または 動画有り）

- 1) 1演題につき1枚のCD-Rで送付してください
- 2) CD-R表面には「分野ー演題番号ー氏名」を記入してください  
例) 生-1-鈴岡拓三  
分野ー演題番号は埼臨技会誌 第46回埼玉県医学検査学会特集号でご確認ください
- 3) 保存するファイル名はCD-R表面に記入した内容と同じにしてください
- 4) CD-Rは返却いたしません。実行委員会にて責任を持って処分いたします

※CD-Rが使用できない場合は、USBメモリーでも受付します。USBメモリーは担当者が内容を確認できるように工夫して提出してください。USBメモリーは発表終了後、総合受付にて返却いたします。実務軽減のためできる限りCD-Rでの送付をお願いいたします。

### 《送付期限》

2018年11月9日(金)～11月16日(金)必着

※必ず、1演題1度の送付をお願いいたします。複数回送付いただきましても、差し替えはできませんのでご注意ください。当日は念のため予備記録媒体を持参ください。



物質測定による施設データの解析を担当している。

講演では2009年から2017年の測定項目(pH、O<sub>2</sub>、CO<sub>2</sub>)平均値およびCV(%)の推移や相値図をスライドで示し、測定値バラツキ原因や問題点などの指摘があった。血液ガスサーベイの結果を振り返り大きくばらつく要因として、①POCT(Point of Care Testing)機器への対応、②水溶液資料が機器に与える影響、③水溶性精度管理物質の測定手技をあげていた。

血液ガスサーベイの今後のために、「この10年の血液ガスサーベイ取り組みから改善点が見えてきた。」とのことであった。今後の改善点としては、①精度管理物質を水溶液から全血に変更、②データが大きく乖離した施設への追跡調査実施(手技的要因、機器的要因などの解明)をあげていた。

富山県における血液ガスコントロールサーベイでは、1999年より3SD以上乖離した施設を事前講習受講の有無と基準値から乖離したデータ数の関係について検討している。事前講習を受けず3SD以上乖離した施設では、翌年度受講すると明らかに乖離したデータ数が減少したとの報告がある。血液ガス精度管理や測定装置の知識を深め正確なデータを臨床医に報告するには、精度管理研修会などの開催も必要かと思われ、今後開催される血液ガスサーベイのデータ収束につながればと思う。

研修会には猛暑日にも関わらず59名の参加があり、有意義であった。

(文責：瀧沢義教)

## テーマ **糖尿病合併症のバイオマーカーについて知ろう！** **GA(グリコアルブミン)の臨床的活用法と認知症との関連**

主催 臨床化学検査研究班

実施日時：平成30年9月6日 19時00分～20時30分

会場：大宮ソニックシティ 604号室 点数：専門教科ー20点

講師：長友哲也・児島綾子(旭化成ファーマ株式会社 診断薬製品部)

参加人数：会員39名

出席した研究班班員：巖崎達矢 永井謙一 大出淳 安田達明 三木隆治 大谷真澄 藤本丈志  
小林麻里子 羽田幸加 北川裕太郎

研修内容・感想など

今回は旭化成ファーマ株式会社の長友氏・児島氏に糖尿病のバイオマーカーとしてグリコアルブミン・糖代謝異常と認知症との関連についてそれぞれ講演していただいた。

グリコアルブミン(GA)はアルブミンが糖化された物質で1～2ヶ月前の平均血糖値を反映するHbA1cに比べ、GAは特に直近2週間前の平均血糖値を反映するマーカーである。アルブミンの4カ所のリジン残基が糖化されヘモグロビンと比べ糖化速度が約4.5倍と早いことからHbA1cに比べ糖尿病治療薬の早期効果判定に適していること、GAとHbA1cの比をとることでHbA1c単独では発見が難しい食後高血糖を比較的捉えることが出来る。赤血球寿命が変動する透析患者などの病態では血糖コントロールはGAが有用である。また妊娠の可能性のある女性では妊娠初期の高血糖が胎児の奇形に影響する事から糖尿病妊娠・妊娠による糖代謝異常の発見には特にメリットがあるとのことである。デメリットとしては、HbA1c同様にネフローゼ症候群などアルブミンの代謝異常の際には血糖値と乖離するデータになることが挙げられた。

認知症は何らかの病態により脳の神経細胞の破壊によって起こる症状や状態であり、高齢化が進む日本では平成24年で認知症は約462万人、軽度認知障害の約400万人と合わせると65歳以上の高齢者の約4人に1人が認知症又は予備軍と推計されている。認知症は、アルツハイマー型・レビー小体型・血管性認知症が全体の85%を占め、その中でもアミロイドβ・タウ蛋白により神経原線維変化が海馬を中心に脳の広範囲に出現するアルツハイマー型が全体の50%を占める。1961年からスタートした福岡県の久山町で行われている生活習慣病の疫学調査である久山町研究から糖尿病と認知症の関連について報告されている。久山町研究からはアルツハイマー型認知症の有病率の上昇が耐糖能異常、特に食後高血糖と関連があり、糖負荷後2時間血糖値の増加とともに海馬萎縮度などアルツハイマー型認知症のリスクが上昇するとの説明があった。また、食後高血糖を反映しやすいGAとHbA1cの比がそれぞれ糖尿病マーカー単独より



会員施設に置かれましても省令公布に伴い必要事項の準備を行っているところと思います。精度管理の充実という点からも共通点が多く、是非この機会に施設認証取得をご検討されてはいかがでしょうか。

詳細につきましては日臨技ホームページの「施設認証制度」のボタンから入り日臨技精度保障(標準化事業)をご覧ください。

### 【申請書類受付期間】

平成30年10月1日(月)～11月30日(金)

### 【申請基準】

1. 日臨技主催の精度管理調査に、申請時より遡り2年以上連続参加している。
2. 施設内で実施している項目は全項目、臨床検査データ標準化事業に参加している。
3. 日臨技精度管理調査の結果で、許容正解項目が2年連続90%以上である。
4. 都道府県技師会主催の精度管理調査に申請時より遡り2年以上参加し、許容正解項目が2年連続80%以上である。
5. 基準的測定法が確立している項目は、原則として標準化を行い実践している。
6. 認証範囲対象項目は全項目、内部精度管理を行いX bar-R管理図等を作成しその記録がある。
7. 内部精度管理については、明らかに許容範囲を超えた異常値が出た場合の対応マニュアルを作成している。
8. 外部精度管理調査(日臨技主催および都道府県主催)評価結果で許容正解を外れた項目については、原因の究明、是正処置、監督者の確認等の記録(様式)がある。
9. 検体検査室に常勤の臨床検査技師がいる。
10. 申請者または精度管理責任者が、日臨技生涯教育研修制度を修了している。あるいは審査基準に定める単位を取得している。
11. 精度管理に関連する研修会等に毎年1回以上参加している。

## 求人案内

### ○医療法人社団 和風会 所沢中央病院

採用条件：正職員

連絡先：04-2994-1265 事務長 服部 貢

### ○社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス

東埼玉総合病院

採用条件：正職員

連絡先：0480-40-1311 総務課 採用担当

### ○ハートクリニック

採用条件：正職員、臨時職員(パート)

連絡先：0276-71-8810 秋山

### ○医療法人 五麟会 まちだ訪問クリニック

採用条件：臨時職員(パート)

連絡先：048-424-7301 後藤 徹也

### ○医療法人社団 協友会 彩の国東大宮メディカルセンター

採用条件：正職員

連絡先：048-665-6166

人事課 採用担当 大山

### ○医療法人 大宮シティクリニック

採用条件：正職員、臨時職員(パート)

連絡先：048-645-1256 本部長 星野

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

平成30年度  
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会  
第7回 理事会議事録

日 時：平成30年9月13日(木) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項  
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：(理事) 神山 矢作 岡田 松岡 小山  
濱本 奈良 小島 神嶋 長澤  
伊藤 濱田 笹野 石井 神戸  
鳥山 猪浦 阿部  
(監事) 細谷 遠藤

欠 席：(理事) 山口 長岡 菊池

本日の理事会の出席者は20名であった。理事の出席者は18名で、現在数21名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、神山清志会長が務めることとなった。

### Ⅰ. 行動報告 (平成30年8月8日～平成30年9月12日)

8月8日(水)平成30年度第6回理事会：

神山、岡田、矢作、松岡、小山、  
濱本、山口、鳥山、猪浦、阿部、  
奈良、長岡、小島、神嶋、菊池、  
長澤、伊藤、濱田、笹野、石井、  
神戸、遠藤、細谷

8月11日(土)日臨技学術委員会：神山

8月13日(月)事務所巡回：小山

8月15日(水)事務所巡回・コンピュータ調整：  
神山

8月17日(金)事務所巡回：神山

8月17日(金)第46回埼玉県医学検査学会実行委  
員会：長岡、神嶋、菊池

8月21日(火)青年部第1回委員会：神嶋

9月2日(日)日臨技診療報酬対策委員会：神山

9月1日(土)埼玉県・埼玉県医師会精度管理調  
査資料発送作業：

神山、松岡、小山、山口、猪浦、  
阿部、奈良、小島、笹野、神戸

9月7日(金)新入会員向け研修会：

神山、濱本、猪浦、伊藤、濱田、  
笹野、神戸

9月12日(水)検査室運営研修会：

神山、長澤、伊藤、濱田、笹野、  
鳥山

### Ⅱ. 報告事項

#### 1 事務局

- 1) 日臨技より「保険点数改定要望項目の調査に関するお願い」が届き、埼玉県の要望を取りまとめ、8月27日に報告した。
- 2) 公益社団法人埼玉県臨床検査技師会臨時会員総会の日程は、平成31年3月15日(金)、大宮ソニックシティ906会議室にて開催することとなった。
- 3) 全国糖尿病週間行事に対し後援受諾の回答をした。
- 4) 榊じほうより検査室運営研修会、秩父臨床化学検査セミナーの取材依頼があった。
- 5) 埼玉県看護協会より第12回埼玉医療安全大会の後援依頼があった。
- 6) 公衆衛生事業功労者に対する県知事表彰に、当会推薦の5名の方の受賞が決定した。  
三志奈賢司氏 (埼玉医科大学病院)  
後藤 義也氏  
(埼玉医科大学国際医療センター)  
三木 隆治氏  
(獨協医科大学埼玉医療センター)  
永野 栄子氏  
(獨協医科大学埼玉医療センター)  
松岡 優氏 (埼玉医科大学病院)

表彰式：平成30年10月29日(月)

14：00より

会 場：埼玉会館小ホール

- 7) 第62回埼玉県公衆衛生大会に神山会長の臨席依頼があり、神山会長が出席することとした。

#### 2 総務部

- 1) 「埼臨技だより」第472号、9月15日発行予定
- 2) 10月6日・7日に行われる検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の責任者を鳥山満理事とすることで決定した。10月11日、中止が決定した。
- 3) 8月21日(火)青年部第1回委員会を開催した。

#### 3 事業部

- 1) 9月7日、新入会員向け研修会を開催した。
- 2) 9月12日、検査室運営研修会を開催した。

#### 4 学術部

- 1) 平成30年度日臨技関甲支部・首都圏支部医学検査学会の座長推薦を行った。  
血 液：石井 千晴氏 (越谷市立病院)  
生 理：瀧沢 義教氏  
(獨協医科大学埼玉医療センター)  
微生物：渡辺 典之氏  
(埼玉医科大学国際医療センター)
- 2) 病理検査研究班のアンケート調査に際し、

クエスタントの使用を許可した。

- 3) 9月1日(土)埼玉県・埼玉県医師会精度管理調査資料発送作業を行った。

#### 5 精度保証部

- 1) 特になし。

#### 6 会計部

- 1) 日臨技より平成30年度正会員費19名95,000円、入会金19名分19,000円、合計114,000円の入金があった。  
2) 石井印刷へ、埼臨技だより第471号印刷代150,028円を支払った。

#### 7 精度管理委員会

- 1) 特になし。

#### 8 一都八県会長会議

- 1) 特になし。

#### 9 日臨技関甲信支部

- 1) 特になし。

#### 10 日臨技

- 1) 特になし。

#### 11 第46回埼玉県医学検査学会

- 1) 8月17日(金)、第10回実行委員会が開催された。

### Ⅲ. 承認事項

#### 1 事務局

- 1) 会員動向(平成30年度分)

平成30年9月1日現在

会員数 3,028名[平成29年度会員数2,897名]

(新入会員 240名)

賛助会員 79社[平成29年度 86社]  
承認された。

#### 2 総務部

- 1) 11月初旬(時期未定)に11月の埼臨技だよりとは別送にて学会特集号を発送したい。  
承認された。

#### 3 事業部

- 1) 特になし。

#### 4 学術部

- 1) 特になし。

#### 5 精度保証部

- 1) 特になし。

#### 6 会計部

- 1) 特になし。

#### 7 精度管理委員会

- 1) 特になし。

#### 8 第46回埼玉県医学検査学会

- 1) 特になし。

### Ⅳ. 議題

- 1) 特になし。

### Ⅴ. その他

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

## あ と が き

10月は乳がん月間です。日本人女性の11人に1人が乳がんにかかると言われており、乳がんの罹患率は40代後半から50代前半にかけて、女性が家庭や社会で最も活躍する年代に多くなります。

『日曜日にマンモグラフィー検査を受けましょう』と、認定NPO法人J.POSHが2009年から始めたJ.M.S(ジャパン・マンモグラフィー・サンデー)の活動は、全国で賛同施設が拡大しています。J.M.Sとは、多忙な毎日を送っていて、平日に病院で健診を受けられない女性が、日曜日に「乳がん検診」を受けられるよう、毎年10月第3日曜日に乳がん検診マンモグラフィー検査を受診できる環境を提供する取り組みです。

有名人の乳がんに関連するニュースを目にすることが多くなり、世間の関心が高くなってきているものの、いつも子どもや家族の心配ばかりで、自分のことは後回しになっているお母さん。あなたの大切な家族やパートナーと、乳がんのこと一緒に話してみませんか？



(菊池 記)